| 学校番号 | 3005 |
|---|---|

# 指導と評価の年間計画（シラバス）

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 3 | 第２学年<br>（工学系） | All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍） |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

## 2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：自由選択「(学)英語演習 A」（１単位）及び「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目･評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目･評価 |
| 前もって準備した上で簡単な文を使って話したり、質問をすることができる。 | コミュ英Ⅱ<br>自分の考えや気持ちを伝える等の活動の観察 | 基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な文やメモを書くことができる。 | コミュ英Ⅱ<br>定期考査 | ゆっくりはっきりと話してもらえば簡単な文や指示を理解することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>ＣＤを聞いてリピーティング、ペアリーディング等の活動の観察 | 簡単な文章や表示･掲示を理解することができる。日常生活で使われる短い簡単な指示などを理解することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>定期考査<br>音読チェック |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| LESSON1<br>Fantastic Festivals<br>世界の祭り<br>( 3時間) | イタリアとフィリピンの２つの祭りに関する発表について読み，その特徴や共通点を学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・本文の内容に関して間違うことを恐れず積極的に話す。 | ・セクションごとの内容をキーワードをもとに簡単な英語で説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・本文の内容に関しての言語活動への取り組み姿勢を観察。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・この単元で学んだ語句や表現を用いて内容の要約を口頭でする。 | ・各セクションの内容を口頭で要約する。 | ・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができたり、英文を適切に書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・各セクションの概要、要点を理解する。 | ・つながりを示す語やフレーズをたよりに話の展開を読み取る。 | ・話の展開を把握し内容を理解できる。音読でしっかり声が出ている。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容把握ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・本文に出てくる文法事項を理解し、様々な語彙や表現を習得する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・本文の中で学習した文法事項を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 2<br>Dancing with Freedom<br>( 3時間) | ダンサーの菅原小春さんについて読み，世界で活躍するまでの道のりについて学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。 | ・セクションごとの音声を聞き取ったり、キーワードをもとに簡単な英語で内容を説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本文の内容に対する感想や意見を言える。 | ・セクションごとの概要を把握したり、自分の意見や考えをまとめる。 | ・話の内容を口頭で要約したり、感想を述べたりできる。 | ・言語活動への取り組み状況の観察や、提出したワークシートの内容を判断材料とする。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・セクションごとに本文の音声を聞き概要を把握する。 | ・本文の音声を聞き取る。本文に関する質問に答えるなどしてその内容についての理解を深める。 | ・本文の音声を聞いて必要な情報を聞き取ることができたり、聞き手に伝わるように音読することができる。 | ・音読やリスニング等の言語活動の観察。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・英語を使用している人々の背景にある文化、多様な物の見方や考え方に対する理解を深める。 | ・文化的背景についての大切なポイントを書き留めながら本文の内容を理解する。 | ・異なる習慣など本文の内容を理解する際に必要な文化的背景について理解している。 | ・内容に関してのQ&Aや定期考査の筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| LESSON3<br>The Spirit of the Forest<br>（３時間） | 天然記念物で日本の固有種であるヤマネと，その生息環境について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・本文の内容に関して間違うことを恐れず積極的に話す。 | ・セクションごとの内容をキーワードをもとに簡単な英語で説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・本文の内容に関しての言語活動への取り組み姿勢を観察。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・この単元で学んだ語句や表現を用いて内容の要約を口頭でする。 | ・各セクションの内容を口頭で要約する。 | ・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができたり、英文を適切に書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・各セクションの概要、要点を理解する。 | ・つながりを示す語やフレーズをたよりに話の展開を読み取る。 | ・話の展開を把握し内容を理解できる。音読でしっかり声が出ている。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容把握ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・本文に出てくる文法事項を理解し、様々な語彙や表現を習得する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・本文の中で学習した文法事項を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 4<br>Living with Robots<br>（３時間） | 科学技術発達の例としてロボットについて読み，未来の生活について考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。 | ・セクションごとの音声を聞き取ったり、キーワードをもとに簡単な英語で内容を説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本文の内容に対する感想や意見を言える。 | ・セクションごとの概要を把握したり、自分の意見や考えをまとめる。 | ・話の内容を口頭で要約したり、感想を述べたりできる。 | ・言語活動への取り組み状況の観察や、提出したワークシートの内容を判断材料とする。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・セクションごとに本文の音声を聞き概要を把握する。 | ・本文の音声を聞き取る。本文に関する質問に答えるなどしてその内容についての理解を深める。 | ・本文の音声を聞いて必要な情報を聞き取ることができたり、聞き手に伝わるように音読することができる。 | ・音読やリスニング等の言語活動の観察。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・英語を使用している人々の背景にある文化、多様な物の見方や考え方に対する理解を深める。 | ・文化的背景についての大切なポイントを書き留めながら本文の内容を理解する。 | ・異なる習慣など本文の内容を理解する際に必要な文化的背景について理解している。 | ・内容に関してのQ&Aや定期考査の筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| LESSON5<br>Special<br>Makeup<br>in Kabuki<br>( 3時間) | 日本の伝統文化である歌舞伎を説明する英語音声ガイドを聞いて，歌舞伎とその独特の舞台化粧・隈取について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・本文の内容に関して間違うことを恐れず積極的に話す。 | ・セクションごとの内容をキーワードをもとに簡単な英語で説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・本文の内容に関しての言語活動への取り組み姿勢を観察。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・この単元で学んだ語句や表現を用いて内容の要約を口頭でする。 | ・各セクションの内容を口頭で要約する。 | ・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができたり、英文を適切に書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・各セクションの概要、要点を理解する。 | ・つながりを示す語やフレーズをたよりに話の展開を読み取る。 | ・話の展開を把握し内容を理解できる。音読でしっかり声が出ている。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容把握ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・本文に出てくる文法事項を理解し、様々な語彙や表現を習得する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・本文の中で学習した文法事項を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 6<br>Microcosm<br>in the<br>Sea ( 3時間) | 世界遺産グレートバリアリーフについてのプレゼンテーションを通して，それが直面する問題について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。 | ・セクションごとの音声を聞き取ったり、キーワードをもとに簡単な英語で内容を説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本文の内容に対する感想や意見を言える。 | ・セクションごとの概要を把握したり、自分の意見や考えをまとめる。 | ・話の内容を口頭で要約したり、感想を述べたりできる。 | ・言語活動への取り組み状況の観察や、提出したワークシートの内容を判断材料とする。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・セクションごとに本文の音声を聞き概要を把握する。 | ・本文の音声を聞き取る。本文に関する質問に答えるなどしてその内容についての理解を深める。 | ・本文の音声を聞いて必要な情報を聞き取ることができたり、聞き手に伝わるように音読することができる。 | ・音読やリスニング等の言語活動の観察。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・英語を使用している人々の背景にある文化、多様な物の見方や考え方に対する理解を深める。 | ・文化的背景についての大切なポイントを書き留めながら本文の内容を理解する。 | ・異なる習慣など本文の内容を理解する際に必要な文化的背景について理解している。 | ・内容に関してのQ&Aや定期考査の筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| LESSON7<br>Happiness Through Hula<br>( 3時間) | 福島県いわき市のフラダンスチームの震災における復興での体験を通して、福島県いわき市とフラダンスの縁を学ぶ | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・本文の内容に関して間違うことを恐れず積極的に話す。 | ・セクションごとの内容をキーワードをもとに簡単な英語で説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・本文の内容に関しての言語活動への取り組み姿勢を観察。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・この単元で学んだ語句や表現を用いて内容の要約を口頭でする。 | ・各セクションの内容を口頭で要約する。 | ・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができたり、英文を適切に書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・各セクションの概要、要点を理解する。 | ・つながりを示す語やフレーズをたよりに話の展開を読み取る。 | ・話の展開を把握し内容を理解できる。音読でしっかり声が出ている。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容把握ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・本文に出てくる文法事項を理解し、様々な語彙や表現を習得する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・本文の中で学習した文法事項を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 8<br>Magic of the Cotswolds<br>( 3時間) | 「ハリー・ポッター」シリーズの舞台となったイギリスを訪れた結衣からのメールを読んで，イギリスの風景や文化について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。 | ・セクションごとの音声を聞き取ったり、キーワードをもとに簡単な英語で内容を説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本文の内容に対する感想や意見を言える。 | ・セクションごとの概要を把握したり、自分の意見や考えをまとめる。 | ・話の内容を口頭で要約したり、感想を述べたりできる。 | ・言語活動への取り組み状況の観察や、提出したワークシートの内容を判断材料とする。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・セクションごとに本文の音声を聞き概要を把握する。 | ・本文の音声を聞き取る。本文に関する質問に答えるなどしてその内容についての理解を深める。 | ・本文の音声を聞いて必要な情報を聞き取ることができたり、聞き手に伝わるように音読することができる。 | ・音読やリスニング等の言語活動の観察。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・英語を使用している人々の背景にある文化、多様な物の見方や考え方に対する理解を深める。 | ・文化的背景についての大切なポイントを書き留めながら本文の内容を理解する。 | ・異なる習慣など本文の内容を理解する際に必要な文化的背景について理解している。 | ・内容に関してのQ&Aや定期考査の筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| LESSON9<br>The Bitter Truth about Chocolate<br>( 3時間) | チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・本文の内容に関して間違うことを恐れず積極的に話す。 | ・セクションごとの内容をキーワードをもとに簡単な英語で説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・本文の内容に関しての言語活動への取り組み姿勢を観察。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・この単元で学んだ語句や表現を用いて内容の要約を口頭でする。 | ・各セクションの内容を口頭で要約する。 | ・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができたり、英文を適切に書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・各セクションの概要、要点を理解する。 | ・つながりを示す語やフレーズをたよりに話の展開を読み取る。 | ・話の展開を把握し内容を理解できる。音読でしっかり声が出ている。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容把握ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・本文に出てくる文法事項を理解し、様々な語彙や表現を習得する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・本文の中で学習した文法事項を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 10<br>Designing for Peace<br>( 3時間) | 工業デザイナーのマスード・ハッサニさんと彼のデザインした地雷探査機マイン・カフォンについて学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。 | ・セクションごとの音声を聞き取ったり、キーワードをもとに簡単な英語で内容を説明する。 | ・本文の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本文の内容に対する感想や意見を言える。 | ・セクションごとの概要を把握したり、自分の意見や考えをまとめる。 | ・話の内容を口頭で要約したり、感想を述べたりできる。 | ・言語活動への取り組み状況の観察や、提出したワークシートの内容を判断材料とする。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・セクションごとに本文の音声を聞き概要を把握する。 | ・本文の音声を聞き取る。本文に関する質問に答えるなどしてその内容についての理解を深める。 | ・本文の音声を聞いて必要な情報を聞き取ることができたり、聞き手に伝わるように音読することができる。 | ・音読やリスニング等の言語活動の観察。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・英語を使用している人々の背景にある文化、多様な物の見方や考え方に対する理解を深める。 | ・文化的背景についての大切なポイントを書き留めながら本文の内容を理解する。 | ・異なる習慣など本文の内容を理解する際に必要な文化的背景について理解している。 | ・内容に関してのQ&Aや定期考査の筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |